

総合的な学習の時間 授業デザイン

日	時：平成25年12月6日（金）第3校時（10時40分～11時25分）
学	年：本校 小学部 2～6年 府立分教室 5・6年 京大分教室 5・6年
授 業 場 所：	本校 会議室，府立医大病院分教室 京大病院分教室

1. 単元（題材）名

「夢の文房具を開発しよう」（アントレプレナーシップ教育）

2. 単元（題材）の目標

- ・文房具の調査と分析を行い，グループでアイディアを出しながら「夢の文房具」を企画する。
- ・アイディアをプレゼン・ポスターセッションなどにまとめ，交流し合う。

3. 単元（題材）の指導計画

指導計画（全20時間） 本時 15時間目

時	主な学習活動・内容	主な使用機器
第1～3時	市販の文房具を調べて，自分の気に入ったものを発表する。	IWB TPC TV会議システム
第4時	文房具を作成している企業のプレゼンを聞き，市販されている商品の開発過程を知る。	TV会議システム
第5～12時	グループで話し合い，「夢の文房具」のアイディアをまとめる。	IWB TPC TV会議システム
第13時	これまでのアイディアをまとめて，中間発表を行う。	
第14時	中間発表を振り返り，本発表に向けてプレゼンの構想を練り直す。	
第15時 （本時）	グループで企画した「夢の文房具」のプレゼンを外部講師や他学年に向けて行う。	
第16～19時	グループで企画した「夢の文房具」のアイディアをポスターにまとめる。	
第20時	ポスターセッションを行う。	

4. 本時の目標

- （1）グループで企画した「夢の文房具」のプレゼンを，伝える相手を意識し工夫して発表できる。
- （2）他のグループの発表をよく聞き，感心する点・良い点などを聞きとることができる。

5. 本時の情報通信技術（ICT）活用

活用する場面	・導入 ・展開 ・まとめ
活用する者〔目的〕	・生徒 [プレゼン提示] ・指導者 [資料提示]
活用するコンテンツ	・コラボノート 自作コンテンツ
活用する機器	・IWB ・TPC ・リモートカメラ ・TV会議システム

6. 本時の展開

	学 習 活 動	活用機器 (活用者)	指導上の留意点・支援内容 【ICTによる支援】
導 入	一斉学習 ○本時の活動内容を確認する。 ○外部講師の紹介を聞く。	IWB (指導者)	【TV会議システムで本校と分教室をつなぐ。 【リモートカメラを設置する。】
展 開	協働学習 ○司会の進行でグループ毎にプレゼン発表を行う。 ・司会は6年生の児童が行う。 ・グループの発表の後、聞いていた児童が感想を言う。 ・Future TOP（本校・京大分教室グループ） ・UNIVERSAL スマイリング（本校グループ） ・Maty Union No. 1!（本校グループ） ・SJR コーポレーション（本校グループ） ・Try リーズ（府立分教室グループ）	IWB (児童)	【マイクを適切に使用するように指導する。】 【音声・プレゼンの共有が出来ているか、確認しながら進める。】
ま と め	一斉学習 ○今回のプレゼンテーションの感想や反省を発表する。 ○外部講師から、賞を発表してもらおう。	TPC (参観者)	【参観していた2～4年生、外部講師、その他参観者の方々に、協働学習システムに感想を書き込んでもらおう。】

7. 本時の評価（評価の観点・観点別の評価を含む）

- 〈5・6年〉（1）グループで企画した「夢の文房具」のプレゼンを、伝える相手を意識し工夫して発表できているか。
（2）他のグループの発表をよく聞き、感心する点・良い点などを聞きとることができているか。

8. 準備物 IWB, TPC, デジタル資料（自作コンテンツ, 協働学習システム用ノート）